

来週の「売り物」記事はこれ



2012年4月13日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

劇作家・演出家・俳優 野田秀樹さん

17日から2週10回

演劇界の旗手として、国内外で息つく間もなく活躍する野田秀樹さん=写真。今年1月には、米同時多発テロに触発されて作った「THE BEE」を念願のニューヨークで初演しました。英国の俳優らによる英語バージョンでロンドン、香港、東京と回ったワールドツアーを経て、4月25日からはジャパンツアーがスタートします。

東京大学在学中に旗揚げした劇団夢の遊眠社時代から、ロンドン留学、そして現在のNODA・MAPにいたるまで、身体と言葉を駆使して縦横無尽に駆け巡る姿を追います。



デンマークの高齢者ケア くらしナビA面 19日(木)



福祉先進国といわれる北欧・デンマーク。コペンハーゲン郊外の町を記者が訪れ、高齢者ケアの実態を視察しました。要介護度が重いお年寄りも、施設でなく自宅で過ごし、ホームヘルパーがきめ細かく訪問介護をしています。日本でも今後、24時間対応のケアサービスが導入されますが、学ぶことが多いようです。

男のおしゃれ変身編 くらしナビB面 19日(木)

読者モデルの男性を、服装から髪形まで一新する人気企画。今回から新たに、コーディネーターに三陽商会の伊藤直美さんが加わり、春らしい明るい着こなしをアドバイスします。普段は地味な装いのお父さんが、ダンディーな紳士に生まれ変わりますよ。



化粧品の動物実験見直し くらしナビC面 17日(火)



化粧品の安全性を確かめるため、動物実験が行われています。マウスだけでなく、ウサギの目に化学物質を垂らすケースもあるそうです。愛護団体からの批判を受け、EUは既に動物実験を禁止しました。日本でも資生堂が廃止を打ち出すなど、見直しの動きが出ています。

運動面連載「インサイド」

スポーツ団体の財政基盤を考える

17日から5回

日本オリンピック委員会（JOC）に加盟する複数の競技団体で、国などからの補助金を不適切な形で受領していたことが今年1月に明らかになり、多くの処分者を出した上で今も調査が続いています。17日から5回連載予定の「インサイド」では、この問題によってあぶり出された競技団体の財政基盤の弱さについて考えます。不正はなぜ行われるようになったのかを探るほか、今回の不正発覚によって競技団体の自主性、独立性が窮地に立たされようとしている実情などを掘り下げます。



ロンドン五輪まであと100日

話題、情報の特集で紹介

18日（水）



スポーツの祭典、ロンドン五輪の開幕（7月27日）が近づいてきました。18日に「百日前」の節目を迎えるのに合わせ、特集面で話題や情報を掲載します。活躍が期待される日本代表の選手選考はこれからがピーク。柔道、陸上、体操など各競技の選考大会日程を紹介します。また、既に選考会を終えた競泳代表選手らの動向や、開催地ロンドン発の現地ルポなども掲載する予定です。

超大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」！

司法修習生時代の同期が明かす

橋下徹・大阪市長「権力の源流」

朝刊 4月15日（日）



記者が現場を歩き、見て、聞いて感じながらニュースの深層、話題の人物の内面に深く迫る、超大型ルポシリーズ「S」。今春のスタート以降、「ダルビッシュの謎」「欧州ホットスポット」と、絶好調です。

第3弾のテーマに選んだのは、地域政党「維新の会」代表を務める橋下徹・大阪市長＝写真＝です。ポピュリズムと言われながら爆発的な支持を集め、一挙手一投足に注目が集まります。既成政党の老練な政治家たちも橋下詣でをするほどです。歯に衣着せぬ物言いで、教職員、組合と対決したり、その一方で脱原発の姿勢を鮮明に打ち出したりする――。これまでの枠に収まらない政治家であることは確かなようです。その型破りなところはどこからきているのでしょうか。司法修習生時代の同期を訪ね、その源流をたどりました。



日曜朝は『S』で始まる――。ご期待ください。

一院制にしてしまっているのか

— 参院なんて要らない？ —

夕刊特集ワイド面 17日(火)



ねじれ国会で永田町政治が動かない中、「参院なんて要らない」という主張が勢いづいている。橋下徹大阪市長率いる大阪維新の会も「参議院の廃止」をうたう。物事が決まらないから一院制にしてしまっているのか。たちあがれ日本の片山虎之助参院幹事長や自民党の林芳正参院議員ら当事者に聞く。

緊急企画「金正恩時代の北朝鮮」

北朝鮮では故・金正日（キム・ジョンイル）総書記の息子で後継者の金正恩（キム・ジョンウン）氏が朝鮮労働党のトップになるなどで、名実ともに北朝鮮の最高指導者の地位を固めた。まだ20代後半とされる金正恩氏は、いったいどのように北朝鮮の新時代を築こうとしているのか。北朝鮮の内部情報をもとに緊急レポートする。